

第3章 病気の予防 第6学年 ●————● 教科書 p. 33～56 ◆配当授業時数：8 時間

単元の目標

- 病気の予防について理解すること。
 - ・病気は、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境が関わりあって起こること。
 - ・病原体が主要因となって起こる病気の予防には、病原体が体に入るのを防ぐことや病原体に対する体の抵抗力を高めることが必要であること。
 - ・生活習慣病など生活行動が主要因となって起こる病気の予防には、適切な運動、栄養の偏りのない食事をとること、口腔の衛生を保つことなど、望ましい生活習慣を身に付ける必要があること。
 - ・喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、健康を損なう原因となること。
 - ・地域では、保健に関わるさまざまな活動が行われていること。
- 病気を予防するために、課題を見つけ、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現すること。

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
病気の起こり方と予防の方法について理解している。	病気の起こり方と予防の方法に関する課題を見つけ、その解決のための方法や活動を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	病気の起こり方と予防の方法の学習において、粘り強く進んで取り組むとともに、自ら目標を立てるなどして調整しながら進めている。

学習活動と評価の計画

知：知識・技能 思：思考・判断・表現 主：主体的に学習に取り組む態度
◎：該当する観点 ○：関連する観点

時間 (教科書頁)	学習活動・内容	評価規準と評価方法	評価の観点		
			知	思	主
第1時 (p. 34～35)	1 病気の起こり方 1. 知っている病気の名前を挙げ、それぞれの病気の主な原因について考える。 2. かぜを例に病気の起こり方について考える。 →p. 38「もっと」 3. 教科書の事例を基に、かぜをひきやすい理由を考える。	・病気の原因について関心を持ち、病気の原因は一つでないことに気付いている。 【発言】 ・さまざまな経験から、病気は病原体、体の抵抗力、生活のしかた、環境が関わって起こることを押さえている。 【発言】 ・病原体、体の抵抗力、生活のしかた、環境に着目して考えている。 【記録，発言】		◎	◎
			◎	◎	
			◎	◎	○

* 主体的に学習に取り組む態度の評価については、内容や時間のまとまりごとなど、評価が適切に行える段階で実施することが望ましい。

時間 (教科書頁)	学習活動・内容	評価規準と評価方法	評価の観点		
			知	思	主
第2時 (p. 36～37)	2 病原体と病気 1. インフルエンザの予防について振り返る。 2. インフルエンザの起こり方について知る。 3. 病原体がもとになって起こる病気の予防方法についてまとめる。 →p. 39「もっと」 4. インフルエンザの予防について、できることとその効果について考える。	・積極的に考えている。 【発言】 ・感染源，感染経路，体の抵抗力の観点から起こり方を押さえている。 【記録】 ・「病原体の発生源」，「病原体のうつる道筋」，「体の抵抗力」の視点からまとめている。 【記録】 ・学習したことを基に，具体的な方法とその効果を挙げている。 【記録】	◎ ◎ ◎ ◎	○ ○ ◎	◎ ○
第3時 (p. 40～41)	3 生活のしかたと病気（1） 1. 日頃の生活を振り返るとともに，生活習慣が関係する病気にはどのようなものがあるかについて知る。 →p. 44「もっと」 2. 生活習慣病とその原因となる生活行動について調べる。 3. 生活のしかたと病気について学習したことを踏まえて，健康のために実行することを考える。	・具体的なイメージを持って，生活習慣病を認識している。 【記録，発言】 ・教科書や資料などを活用してまとめている。 【記録】 ・生活習慣の大切さを強調した実行可能なめあてを立てている。 【記録】	◎ ◎ ○	○ ○ ◎	○
第4時 (p. 42～43)	4 生活のしかたと病気（2） 1. 日頃の生活を振り返る。 2. むし歯や歯周病の起こり方について調べる。 3. AさんとBさんの生活のしかたと口の中の状態を比べ，むし歯を防ぐための生活のしかたについて考える。 4. 自分の生活を振り返り，改善するところを見つける。	・むし歯や歯周病が，生活のしかたに関係していることに気付いている。 【記録，発言】 ・教科書や資料などを活用して調べている。 【記録】 ・生活行動が原因であることを押さえている。 【発言，記録】 ・生活のしかたとむし歯との関係を押さえ，改善すべきことを考えている。 【記録】	○ ◎ ◎ ○	○ ◎ ○ ◎	◎ ○
第5時 (p. 46～47)	5 喫煙の害 1. たばこについて知っていることやイメージを挙げる。 2. 喫煙の害について調べる。	・積極的に挙げている。 【発言】 ・教科書やインターネットなどを	◎	○	◎ ○

時間 (教科書頁)	学習活動・内容	評価規準と評価方法	評価の観点		
			知	思	主
	3. 喫煙が年齢によって禁止されている理由について知る。 4. 喫煙を制限する場所が増えている理由について知る。 5. 大人になっても喫煙しないほうがよい理由を挙げる。 →p. 52「もっと」	活用して調べ、心身に与える悪影響を押さえている。 【記録，行動観察】 ・具体的な健康への害を挙げることができる。 【記録】 ・受動喫煙を防止する目的について押さえている。 【発言】 ・健康への影響を踏まえて挙げている。 【記録】	◎	○	
第6時 (p. 48～49)	6 飲酒の害 1. 飲酒が原因で起こる事故や事件について、知っている事例を挙げる。 2. 飲酒の害について調べる。 3. 飲酒が年齢によって禁止されている理由について知る。 4. 自分が飲酒をしない理由を考える。→p. 52「もっと」	・積極的に挙げている。 【発言】 ・教科書やインターネットなどを活用して調べ、心身に与える悪影響を押さえている。 【記録，行動観察】 ・具体的な健康への害を挙げることができる。 【記録】 ・健康への影響を踏まえて考えている。 【発言】	○		◎
第7時 (p. 50～51)	7 薬物乱用の害 1. 薬物乱用とその害について調べる。 →p. 53「もっと」 2. 薬物乱用が厳しく禁止されている理由について知る。 3. 教科書の事例を基に、どこが間違っているか考える。	・教科書やインターネットなどを活用して調べ、薬物乱用が引き起こす問題などについて押さえている。 【記録，行動観察】 ・健康への害があることを押さえている。 【記録】 ・それぞれの場面について、学習したことを活用して考えている。 【記録，発言】	◎	○	○
第8時 (p. 54～55)	8 地域のさまざまな保健活動 1. 地域の保健所や保健センターの場所や活動について調べる。 2. 学校や地域での健康を守るための活動について調べる。 3. 自分や家の人が活用できそうな保健活動を考える。	・資料やインターネットなどのさまざまな方法で調べ、地域で健康を守るためのさまざまな活動を行っていることに気付いている。 【行動観察，記録】 ・活動内容についてまとめている。 【行動観察，記録】 ・保健活動と毎日の生活を結び付けて考えている。 【記録】	◎	○	○